

## 最適な交通機関？

「環境にやさしい」とひと口に言いますが、それは社会的な文脈や経済的な状況によって大きく変わります。エコカーが買えるのは世界の人口の何%でしょうか？これは社会的・文化的・財政的状况の違いで最適解が変わることを経験するゲームです。

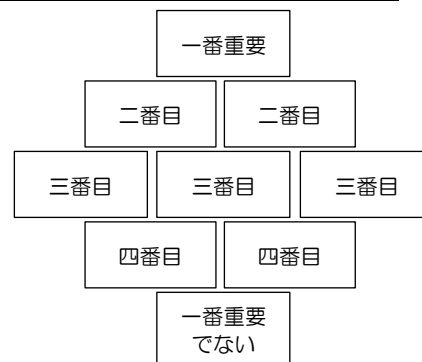
### 【やり方】

①3 ページ目の「ダイヤモンド・ランキング使用カード」を切り離します。

カードの意味は、次の通りです。

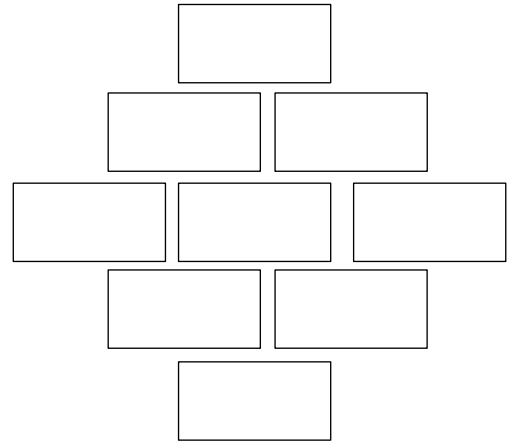
②2 ページ目の「A国」「B国」「C国」の状況を読んで想定しながら、カードを右下の順番で並べ替えてみましょう。

カード	カードの内容
課金制度	渋滞する道路を有料化したり、ガソリン税を増やしたりすることでクルマの使用を抑制できる。だが、流通費が上がり市民生活に影響が出るかも。
トラム	市内にトラムを走らせそれを利用ようにすればクルマの使用が減るが、もし市民がクルマを手放さないとトラム自身が渋滞の原因になる。
鉄道整備	市内に高架線の鉄道網を整備すればクルマの使用を減らせるが、それを使用しないと莫大な費用のわりに効果がない。
地下鉄	気候や地上の道路事情に左右されずに走れる地下鉄であるが、莫大な費用がかかる上に市民が利用しないと費用のわりに効果がない。
自転車道	自転車道を整備することで渋滞や環境汚染も減らせるが、気候に左右されやすく、またクルマをステータスだと考える意識を変える必要がある。
車両制限	時間帯やナンバーなどで市内に流入する車の数を制限する方法であるが、金持ちが2台のクルマを買い、常に流入するという事態も起こりうる。
バイパス道	市内を通らないバイパス道をつくることで市内の渋滞を減らせるが、結局は、郊外に新たな渋滞地帯をつくることにもなりかねない。
コンパクトシティ	クルマで長距離を走らずに、徒歩や自転車で移動できるコンパクトシティをつくることもできるが、莫大な費用や移転の問題が生じる。
遷都	遷都することで一から都市計画を考える方法であるが、莫大な費用がかかる上に、「クルマを利用する」という根本問題は解決されない。



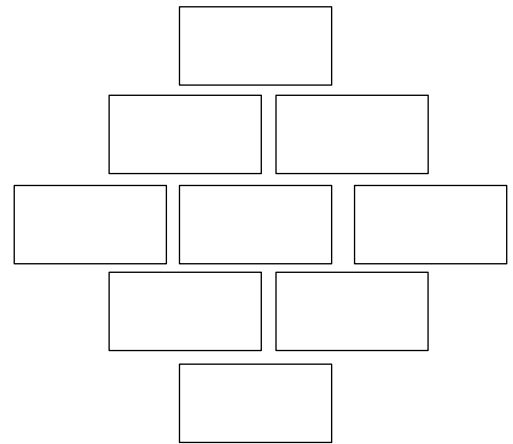
○A 国

A 国はヨーロッパの小国で国土が狭く、街が作れる土地は開発されつくしてきた。しかし小さいが豊かな国で平坦な道も多く、人びとはエコロジーに敏感な国である。



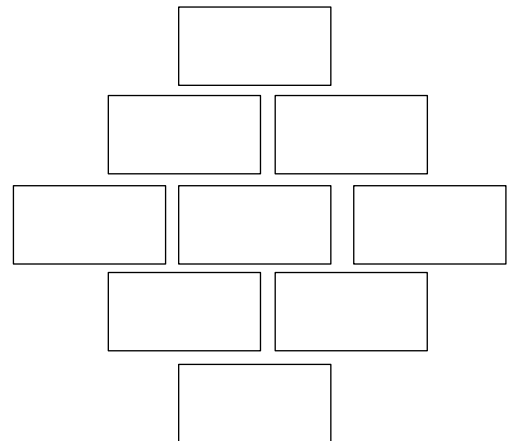
○B 国

B 国は東南アジアの国で人口密度が高い。国民の貧富の差が激しくとんでもない金持ちがいるが、国全体としては貧しく大きな土木工事はできない。国土は広いが密林が多く、人口は大都市に集中しているまた気候も雨季や乾季の差が激しい。



○C 国

C 国は中央アジアの国で、近年、モータリゼーションが起こり多くの国民が輸入中古車に乗り始め渋滞が深刻な社会問題となっている。国土は広く土地は安い、国自体は貧しく大きな土木工事はできない。一年の半分が雪に閉ざされ、冬はマイナス 30 度にまで下がる。



○三つの結果を見比べて感じたことを書きましょう。

A large empty rectangular box provided for writing the student's observations and conclusions based on comparing the three population pyramids.

【ダイヤモンド・ランキング使用カード】

 <h2>トラム</h2> <p>車線の一部を利用して市内にトラムを走らせ それを利用するようになれば クルマの使用が減り渋滞が減るだろう しかし市民がクルマを手放さないなら トラム自体が渋滞の原因になる可能性もある</p>	 <h2>コンパクトシティ</h2> <p>クルマで長距離を走らずに 徒歩や自転車で移動できる コンパクトな街をつくることで 渋滞を減らすことができるものの 街づくりや移転のための莫大な費用がかかる</p>	 <h2>自転車道</h2> <p>自転車道を整備することで 渋滞や環境問題も減らすことができるが 気候に左右されやすく クルマをステイタスだと考える社会では 市民の意識を変えないと普及しない</p>
 <h2>課金制度</h2> <p>渋滞する道路を有料化したり ガソリン税を増やしたりすることで クルマの使用を抑制し渋滞を減らす ただし流通のためのコストが上がり 市民の生活に影響が出る可能性がある</p>	 <h2>車両制限</h2> <p>時間帯やナンバーなどで 市の中心部に流入する車の数を 制限して渋滞を減らす方法であるが 金持ちが複数のクルマを買って つねに流入するという事態も考えられる</p>	 <h2>地下鉄</h2> <p>地下鉄を整備すれば 気候や地上の渋滞にも左右されず走れるが 建設にはさらに莫大な費用がかかる それを市民が利用しないのであれば 費用のわりに効果が少ないものとなる</p>
 <h2>鉄道整備</h2> <p>市内に高架線の鉄道網を整備すれば クルマの使用を減らして渋滞を防げるが もし市民が利用しないのであれば 莫大な費用がかかる上に効果が少ない</p>	 <h2>バイパス道</h2> <p>市内を通り抜けないバイパス道をつくり 市内の渋滞を減らすことはできるが 結局は郊外に 新たな従来をつくることになる可能性がある</p>	 <h2>遷都</h2> <p>街を丸ごと移転することで 一から都市計画を考え直し 渋滞が起こりにくい街づくりが可能だが 莫大な費用がかかる上に 「クルマを利用する」という根本は変わらない</p>

(Taniguchi, 2017)